

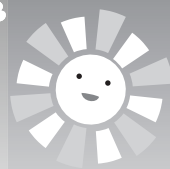


# 館報 まつかわ

松川町公民館報  
第665号  
平成31年3月15日

町の川 ⑨  
ムツカシ沢 雨乞いの滝

# に 応 え る 公 民 館



## Next stage

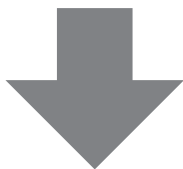
### 公民館の必要性を理解している人は多い

- ・ 公民館は潤滑油
- ・ 地域をつなぐ大切なもの

### 参加から参画（自分が主人公）へ

- ・ 一人一人が当事者意識を高められれば
- ・ 役員の成り手も増えてくれるはず

### 役員は大変である。しかし・・・



もし公民館がすべてなくなったら。  
 “役員をやらなくて済む” という  
 楽観的な話だけで済むのだろうか？

本  
当  
は  
皆  
分  
か  
っ  
て  
る

考えた

# 時代にマッチニーズ

## 第56回 公民館研究集会

どうすれば時代にあった公民館になれるのか。そんなことをテーマにした公民館研究集会が2月24日(日)にえみりあホールで開かれました。昨年に引き続きテーマということで「NEXT STAGE」(ネクストステージ)とし、110人ほどで話し合いました。

公民館の必要性は誰もが知るところですが、その運営・実行などには悩みがつきません。そこで、去年に続き4つ



人を 地域を  
世代をつなぐ役割



の地区公民館に活動の事例発表をしていただいたり、今年の本館の社会部・体育部・編集部 の活動紹介もありました。

現在の各公民館の役員や部員、その経験者、また一般の方や高校生も参加し、今と昔の公民館を比べたり、公民館の未来をどのようにしたいのか、それぞれの思いを出し合いました。

そして公民館の大切さが改めて共有されました。

だから

皆で

楽しむことが  
大切!

「やらなきゃいけない事業」ではなく、「やりたい事業」をやろう

参加人数で判断するだけでなく、興味がある人が集まるのが大切

その事業を楽しむにしている人は「いる!」

世代を  
つなげられる

高齢者も楽しめるイベントを

高齢者は知恵もあり、役員としても参加してもらえたら、それが生きがいになることもあるのでは

役割をもつことで認知症予防の観点からも意味がある

子どもと高齢者がつながるかかわりの場にもなる

子ども(若者)にとっては地元への愛着にもつながる

一緒にやろう!

本館と地区館が共催し一緒にやることが地域を盛り上げる

「来て楽しむ」から「一緒に何かを」へつなげられればよい





竹内 功さん  
(大島地区協議会)

平成30年度  
**公民館  
功労者表彰**  
2月24日(日)に開催された「第56回公民館  
研究集会」において中央公民館、各地区公民館  
の活動にご尽力された10人が表彰されました。



堀木 拓也さん  
(中央公民館)



松下 幸市さん  
(名子地区公民館)



島田 賢治さん  
(名子地区公民館)



佐藤 清光さん  
(上新井地区公民館)



松澤 宣治さん  
(上新井地区公民館)



山田 隆道さん  
(上大島地区公民館)



今村 俊男さん  
(上大島地区公民館)



伊藤 智之さん  
(古町地区公民館)



湯澤 利行さん  
(古町地区公民館)



講師の  
湯浅 誠さん

湯浅さんが話されたこと  
の、子ども数の減少などが関  
係するそう。  
子どもがいなくなり学校が  
閉校になる、高校が近くに無  
く地区外へ家族で引越す  
る、ということもメディアで  
見聞きするようになりました。

子ども居ること、人々が  
つながってゆく地域交流の輪  
ができると思う。

「子ども食堂」  
近年、この言葉を耳にする  
ことが多くなった気がします。  
家庭の事情により食事をとる  
ことのできない子どものため  
の場所と、考えていました。  
行政や大手の芸能事務所な  
どが建設をすすめる事の意味  
とは。

全国各地で、年々増えてい  
る子ども食堂は、多世代が集  
まる地域交流拠点と子どもの  
貧困対策の両面を合わせもつ  
場として、ますます重要視さ  
れるそう。

今回のまつかわ大学は、法  
政大学現代福祉学部教授・日  
本弁護士連合会市民会議委員  
など多方面でご活躍されてい  
る社会活動家の湯浅誠さん。

地域に子どもが少ないのは  
結果として文化の衰退につな  
がりがねない、それを防ぐた  
めに人と人がふれ合い、にぎ  
わいを創る地域の拠点として  
の位置付けもあるとのこと。  
助けを必要とする子どもへ  
の手助けはもちろんです。そ  
して運営するスタッフは老若  
男女さまざまな年代の人々が  
集まり、地域交流の広がり  
につながってゆくようです。

**す  
ぽっと**  
1ミリでも進める、子どもの貧困対策  
「私たちの社会は、私たちの手で変えていける」  
平成30年度まつかわ大学第13期第4講座

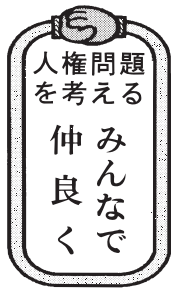
みんななかよし三年一組

大原 心葉

わたしのクラス三年一組は、いいところが三つあります。一つ目は、みんなが注意し合えるところ。二つ目は、みんながとっても元気いっぱいなところ。さい後の三つ目は、みんながすごくなかよしなところ。

わたしが、この三つの中で一番いいと思うのは、なかよしなところ。理由は、みんながなかよく遊べるというのは、意外とむずかしいことだからです。女の子どうしは、三人・四人で遊ぶグループがいると、一人だけ仲間はずれになってしまったり、男の子だったら、ゆずり合えなくてケンカになってしまったりすることもあります。三年一組は、そんなトラブルもあつたこともあるけれど、今は、やればみんな、なかよく遊ぶことができます。だからわたしは、みんながなかよく遊べるということが、すごいことだと思っています。わたしは、そんなクラスがずっと続いて、もっとなかよしな、いいクラスになれるといいと思っています。

わたしは、こんなクラスを目指しています。



松川中央小学校

三年一組の なかよしなところ

久保田 栞七

三年一組のなかよしなところは、たくさんあります。その中の三つをしようかします。

一つ目は、係のことです。係の中には、なかよし係、新関係、レク係などがありま

す。なかよし係は、友だちに声をかけたり、さそったりする係です。新聞係は、できるだけ楽しい新聞を作って、みんなに見せる係です。レク係は、レクレーションの時間にみんなが楽しめる遊びを考えられます。他にもいろいろな係がありますが、なかよしに關係する係は、とくにこの三つの係だと思っています。

二つ目は、休み時間のことです。休み時間には、さそい合つて、サッカーやグリコ、おにごっこをしています。「おにごっこをする人、集ま

と声をかけて、いつも中庭で、楽しそうにやっています。サッカーは、ボールを持って、校庭に行つてやっています。グリコは、ジャンケンしながら、教室を一周しています。楽しく、なかよくやっていますので、とってもいいことだなあと思いました。

三つ目は、「りんごの木」のことです。「りんごの木」とは、クラスの中でいいことがあつたら、りんごの葉っぱや実の形をした紙に書きま

す。帰りに、りんごの木の形が集めて、りんごの木の形をした紙にはります。たくさん

はつてあるので、いいなあと思っています。たとえば、「読書の時間にしずかに本が読めた」とか、「大きな声で歌えた」などがあります。

わたしは、三年一組が少し元氣すぎると思う場面もあります。だけど、この三つのなかよしなところがあると、いいクラスだなあと思うときもあります。わたしがこの作文を書きたいと思った理由は、三年一組のなかよしなところを見つけてみるのもいいなと思ったからです。

〔お知らせ〕

町民体育館耐震工事

平成31年度に町民体育館の耐震補強工事を行います。工事期間は約8～9か月を予定しており、その間は体育館が使用できません。ご迷惑をお掛けしますが、宜しくご承知おきください。ご不明な点は中央公民館迄お問い合わせください。

中央公民館えみりあギャラリー

ギャラリーへ展示する 作品を募集!

松川町に關係するグループや個人が制作した作品を多くの方に見ていただけるよう、展示作品を募集します。

協力いただける団体(方)は、公民館までお知らせください。

- 展示場所 中央公民館えみりあギャラリー
- 展示期間 作品点数により応相談
- 募集期間 随時受付
- 連絡先 中央公民館えみりあ
- 電話 0265 (36) 2622



【問合せ先】大会事務局：電話0265-48-6713

# ハーフマラソン通信



2月11日に、第46回地区対抗弓道大会が開催されました。結果は次の通り。

**団体戦**

優勝	上新井
福澤	隆夫・大藏 壽春
岩村	和夫
準優勝	上大島
宮沢	芳光・櫻井 朝陽
齋藤	実
第3位	名子
笠原	武明・伊藤 久人
小沢	誠

**個人戦**

優勝	宮沢 芳光
準優勝	福澤 隆夫
第3位	伊藤 久人
第4位	大澤健太郎
第5位	笠原 武明

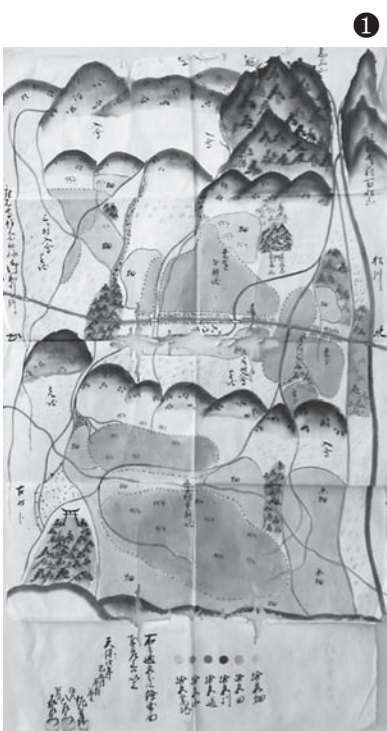
**射詰賞**

小沢 誠
------



## スポーツ

### 地区対抗 冬季弓道大会



① 資料館で預かっている名子村と上新井村の古文書の中には、何枚かの絵図があり、何枚か作成していました。現在残っている村と残っていない村があります。

もう一つの村明細帳は、江戸時代の村の中で、幕府が直接治めている村にだけ残っています。

松川町資料館  
伊坪 達郎

**松川町今昔**  
資料館だより  
第33回  
「江戸時代の村の姿」  
(その1)

江戸時代の村の様子や実情を知るために、どんな古文書を見られるかと思えます。現在残されている古文書はいろいろな種類があり、どれから村の様子を知ることができませんが、まとまったものとして、当時の様子がわかる古文書としては、①村絵図②村明細帳というものが残っています。

② ます。それは土地利用の様子・災害にあつた土地の状況・薪取や草刈に入る入会山の状況などが描かれています。これらの絵図は代官から求められる場合と村が要望をあげる時などに文書につけて出す場合があります。また絵図の中には、近くの村との境をめぐる争いや、山や川の利用をめぐる争いの決着を示す絵図もあります。さらに村の道・川・家なども描かれています。現在と比べることもできます。1枚の絵図の中に多くの情報が含まれており、見ていて楽しいものです。

桐村の上片桐と片桐町、大島地区では名子村、生田地区では部奈村・峠分・福与村・中山分・長峯柄山分などで、20冊ほど残っています。

一冊の明細帳は20〜30ページあり、土地の面積・等級・石盛・年貢量、検地や検地の時期、小物成・運上・冥加、作物や作付、家数・人数・馬数、所持鉄砲数、神社や祭祀、寺院・地藏堂・十王堂・観音堂・阿弥陀堂、高札場や郷藏、山や川の利用など多くのことが書かれています。各村で書いていることは類似していますので、きつと書き方の様式が示されていたものと思えます。飯田下伊那の他の幕府領と比べると、松川町の特徴もわかると思います。





### 気軽に楽しめるボルダリング

松川スポーツクライミングクラブ

北林 誠さん

旧東小学校にボルダリングの施設を作られた北林誠さん。3年位前にスポーツ大会の慰労会で「ボルダリングって面白そう」という話がか

ついで、自作で出来るとかわり何人かに声をかけ手さぐりで始めたそうです。自費でやるにはどうしたらよいか大変だったが、元大工さんもいて、いろいろ考えて今の形になったそうです。「こうしたら面白いかな？」と時々作り直して変化をつけるのも楽しさの一つとのこと。

だいたい日曜の10時〜17時に無料で開放しています。小さな子どもを連れて遊びに来たり、ボルダリングをしなくても70代の人も訪れたり。小学校のクラス会などで利用し



てくれることもあるそうです。基本的なことや危険なことを教えて、あとは自由に使ってもらい、スラックライオンやトランポリンをすることもあるとか。

スポーツクライミングのクラブとしては『チャレンジ東小』というお祭り騒ぎのようなイベントを時々開催していて、次回予定の4月21日にも楽しいことを計画しているとのこと。

今後のことをお聞きすると「外にロープクライミングのできる施設を作りたい。『チャレンジ東小』はずっと続けていきたい」と語ってくれました



た。

ボルダリングって難しい、旧東小は遠いというイメージがあるかもしれませんが、気軽な服装で楽しめ、小さなお子さんも楽しめる器具もあるので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうかでしょう。

### 俳句

春めく

北原泊瀬

霜髪めおとの夫婦めおと寄りそひ春めけり

紅絹もみの香や母情に似たる春炬燵

路線バス最終点の雛飾り

鳥雲に長旅の意志あふるる瞳め

予報士の駄洒落なんぞや山笑ふ



松川北小学校3年

四年生といっしょにやった  
そつ業式の歌

宮澤 彩生

四年生とそつ業式の歌を練習しました。橋えだ先生に教えてもらいました。四年生はともきれいな声で歌っていました。わたしは小さい声しか出ませんでした。せいいっぱい大きな声で歌いました。世温君が大きい声で歌っていて、いいと思いました。そつ業式には、六年生に向けて、せいいっぱい歌いたいと思います。

そつじを教えたい

松下 結衣

今日は、妹にトイレそつじのやり方を教えました。さいしよにトイレのせんさいをかけて十分ほど待つ間に、トイレを全部きれいにふくように教えました。十分間たったので、フラシでゴミゴミすりました。男子トイレも教えたおりに妹一人でそつじをしました。その後、男子トイレを見てみると、二人でふいた女子トイレみたいにピカピカ光っていました。妹がトイレそつじができるようになったのでよかったです。

できた。  
うれしいかかえこみとび

新井 凜音

「かきかかな」

今日は体育でかかえこみとびをやりました。一番うれしかったのは、一だんがとべた事です。わたしは前やった時、一だんがとべなかつたので、とべないと思いました。さいしよとんだ時は上になつてしまつたけど、やっていったら、だんだんできるよになつたのでうれしかったです。他にも、もう少してできそうなんも、がんばつてとんだらできると思います。とび箱の前でいきおいがなくなつてしまつたり、止まつてしまつたりするので、そこをなおした方がいいと思います。次は三だんもできるよにならなりたいです。

とび箱がとべた

宮下 みお

わたしは、今まで四だんのとび箱がとべなかつたけど、先生にいろいろアトバイスをもらつて、とんだらとべたのでよかったです。また、一だんふやして五だんでやつたら、たても横も一発でとべたのでうれしかったです。もつと高いだんや他のとび方にもチャレンジをしたいと思いました。

# 生田地区 芸能文化祭

## 盛大に開催される



毎年恒例となる生田地区芸能文化祭が2月3日(日)に盛大に行なわれました。  
 今年は、場所を部奈文化伝承センターへ変更し行いました。当日心配された天気は、好天に恵まれ、肌寒さはありませんでしたが開催するにはとても良い日でした。

午後からは開会式に続き、部奈雅楽保存会の獅子舞、太鼓一芸楽人さんの太鼓の音が伝承センターに響き渡り、



来賓には、町長さんをはじめ町の関係者の方々にお越し頂き、又展示の部は、部奈第2会所で、写真、手芸、押し花、小渋川の珍しい石などの力作を沢山出品していただきました。又今年も町と親交ある中米コスタリカの展示が目ま引いていました。



ゆっくり展示を眺める

保育園児の可愛いダンスや大人のフラダンス、和楽座の皆さんの侍に扮しての舞踊、カラオケや地元の演歌歌手五十嵐まり子さんの歌も披露され、最後にザ・スクーターズによるベンチヤーズのバンド演奏を聞き酔いしました。味の店もご利用いただき、大盛況でした。本当にありがとうございました。

芸能文化祭の最後は、鈴木峰好区長会長による万歳三唱で幕を閉じました。最後に役員の皆様、婦人部の皆さま、出店頂いた皆様、この書面をもって心より感謝申し上げます。これからも生田地区協議会へのご支援を宜しくお願い致します。

生田地区協議会 正弘

### ◎◎◎草

皆さんは『還暦』の意味を知っていますか？今年の1月に父親が還暦を迎え、還暦祝いの食事会中、「なぜ60歳が還暦なのか」という話題になり、調べてみました。

還暦の由来は『干支』が関係しているみたいです。  
 干支という子から始まって亥で終わる十二支のことが真っ先にイメージされますが、これは干支のうち『支』の方を意味しています。

干支の『干』とは甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸から成る十干のことを意味しています。

この十二支と十干の二つを合わせたものが干支であり、組み合わせが60で、各年に割り振られます。60歳を迎える年に干支の暦が重なり、「暦が還る」と書いて還暦と呼ぶ様になったみたいです。

現在の60歳はまだ現役と言われる時代になってきたので、苦勞も多いと思いますが元氣よく頑張ってください。

米山拓也

公民館報  
**「まつかわ」**  
 第 665 号  
 平成31年3月15日  
 発行所 松川町公民館  
 責任者 小 沢 誠  
 編集人 公民館編集部  
 Tel 36-2622  
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
 飯田市上郷黒田121  
 印刷所 龍共印刷(株)